

日本科学者会議 第18回総合学術研究集会

D-2 分科会 研究不正問題と大学の対応

KKRホテル仙台 会場:蔵王1 11月21日 9:00~13:00

ここでは東北大総長の名誉毀損裁判に関わる問題や大阪大学の特許盗用の事例が合わせて広く議論されます。皆様の参加をお待ちしています。

講演

■井上明久東北大総長の研究不正疑惑と東北大学の対応

○高橋 禮二郎(元東北大): 弁明不可能な論文捏造

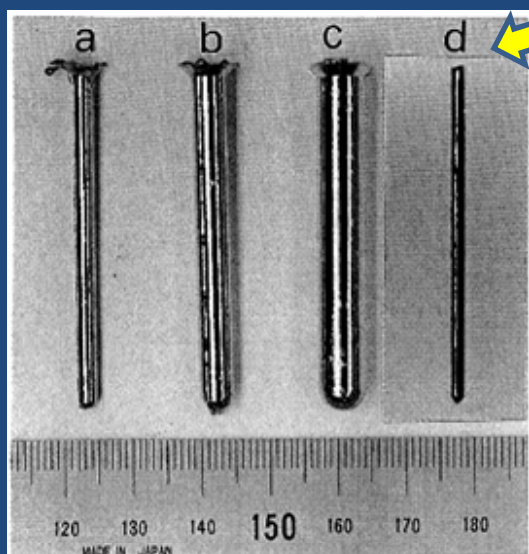
※米国ベル研の超伝導やソウル大学のES細胞に関する論文捏造問題と対比しつつ、井上氏の研究不正問題を解明

○大村 泉(東北大): 研究不正裁判の争点と展望

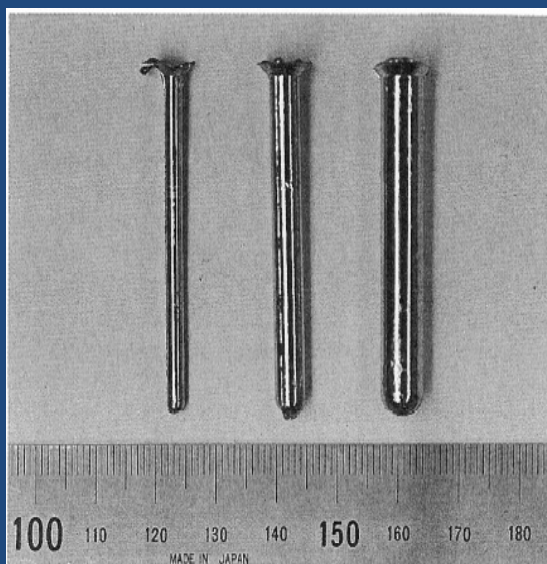
※訴訟の経緯や背景などを解説

■大学は特許出願における研究倫理問題を審議しない方がいいのか

○山口 俊郎(大阪大学)



製作試料dの写真は後から貼り付けられている



典型的な捏造論文(使いまわし)の事例: 上図(左)は、井上東北大総長らが日本金属学会論文賞を得た1999年論文の製作試料外観写真。上図(右)は、井上氏らの1977年論文の写真。詳細は高橋講演。

連絡先: 大村泉(コーディネーター) 022-795-6297 / iomura@atmark-econ.tohoku.ac.jp